

廃棄物再生処理施設のジアムーバー酸化水除菌消臭システム

—— ミスト噴射による空間除菌 ——



装置の特長

1 高性能 pHセンサーを内蔵

pH センサーを内蔵し、安定した殺菌水の生成を常に監視し、安全性を高めました。

2 pHセンサーによる自動生成コントロールシステムを搭載（特許申請中）

pHセンサーを内蔵することにより、生成水の pH 値を常に測定し、さらにフィードバックして安定かつ安全な pH 値を維持コントロールします。設定できる pH 値は 5.5～7.0 まで 4 段階の設定が可能です。使用環境によってシステムを 3 種類選択できます。

3 生成開始後瞬時に安定した生成水

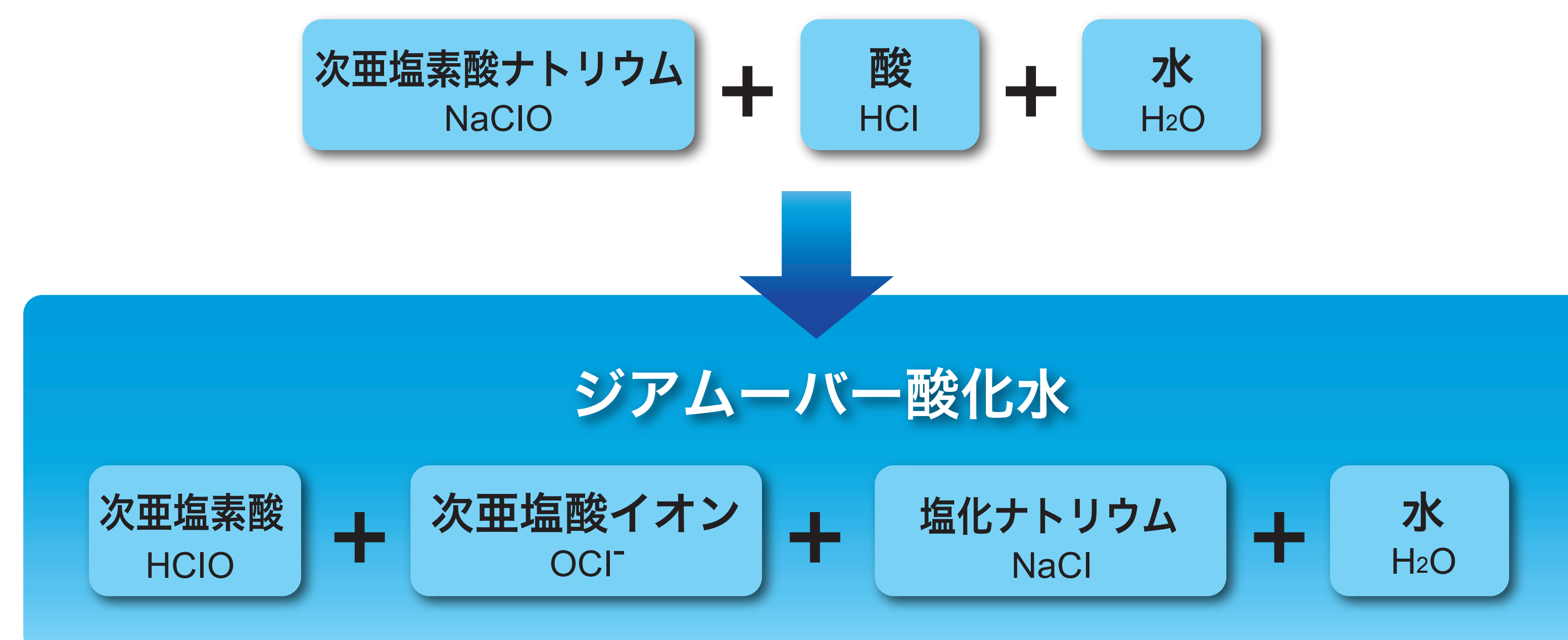
独自の技術による攪拌システム（特許取得済）を用い、停止時より再スタートした際、生成水の水質を瞬時に安定させます。

4 タンクシステムにも対応可能

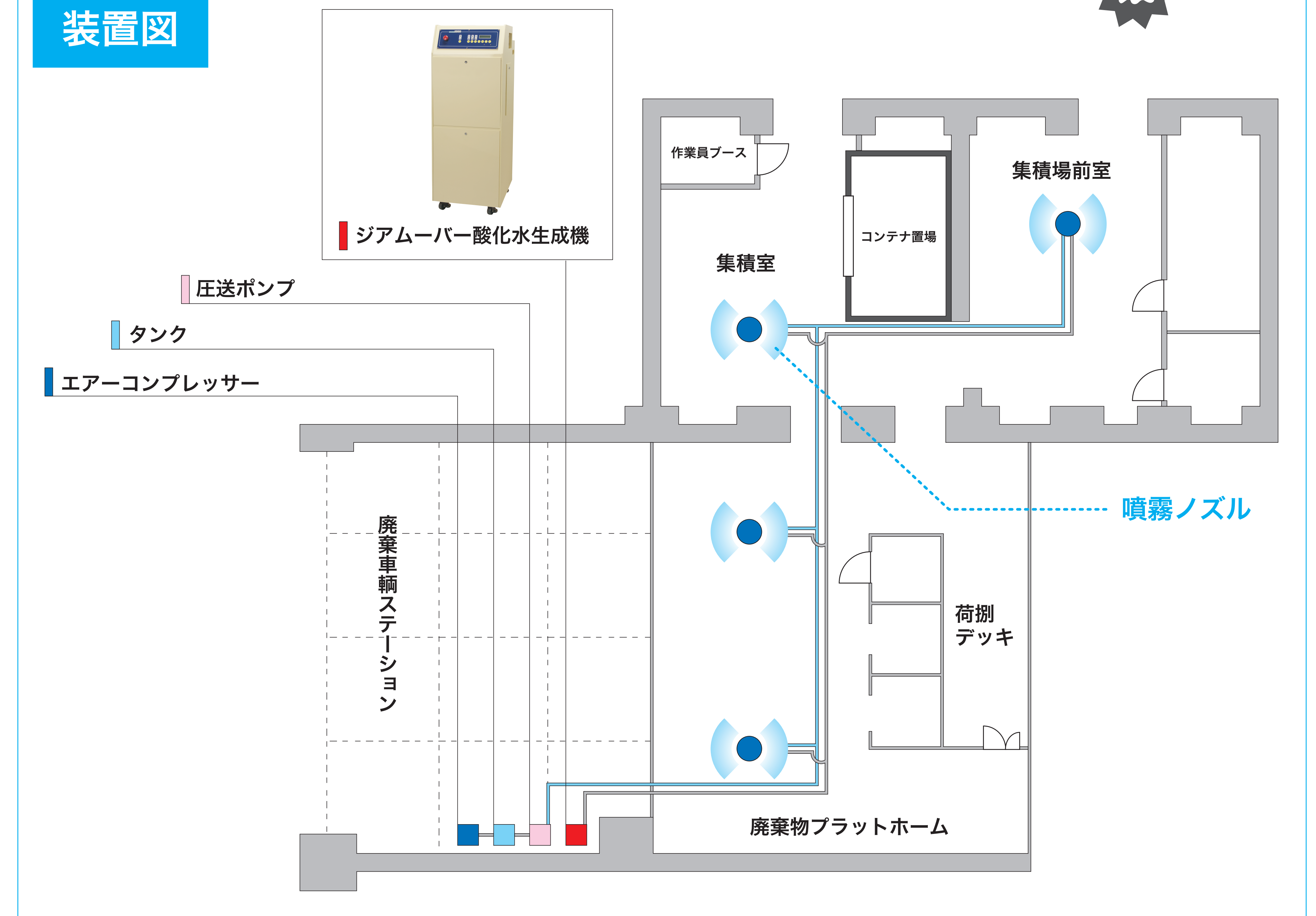
貯水タンクシステムにも対応し、生成をコントロールします。

ジアムーバー酸化水とは？

ジアムーバー酸化水は、「次亜塩素酸ナトリウム」と「塩酸」を水で希釈混合することにより生成されます。



装置図



作用液のウイルス感染価測定結果

※ 財団法人日本食品センター
第 208021303 - 002
2008 年 4 月 4 日実施

試験ウイルス	対象	log TCID 50/ml			
		開始時	15 秒後	60 秒後	180 秒後
ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替ウイルス)	ジアムーバー酸化水 (50ppm)	7.0	< 1.5	< 1.5	< 1.5

試験概要

検体にネコカリシウイルス（ノロウイルスの代替ウイルス）のウイルス浮遊液を添加、混合し、作用液とした。室温で作用させ、15、60 及び 180 秒後に作用液のウイルス感染価を測定した。